

★下鴨いきいきクラブ★

3人から6人になりました～

<福祉ボランティア活動交流会実行委員会に参加したら、クラブ立ち上げのヒントがあった！！>

福祉ボランティア活動交流会実行委員会に参加して地域を見つめて、みんなでどんな地域でありたいか話し合いました。地域を学ぶということで、左京区社会福祉協議会協を訪問して活動の様子を教えてくださいました。「このころのひとりぼっちをなくそう」というテーマで活動が展開されていました。北白川学区社協が主催する居場所「ひだまり」に参加してみると、中心となるメンバーがいて地域の方々が自由に出入りしておしゃべりを楽しんでいました。

それは、「私たちの地域で集まる場所があったらいいのに・・・」という思いに繋がりました。場所と人を確保しないと…ということで、声をかけ合いました。地域には生協での組合員活動の経験のある人がたくさんいて、「以前は、コープ下鴨の店頭で『ふくしフォーラム』をしたよね」「何かしたいとズーッと思っていた」「また、下鴨のお店で何かできないかな」と、まずは3人の仲間が集まりました。

クラブの立ち上げについては、北ブロックの事務局に相談すると、まわりのクラブやコミュニティの活動を紹介して頂きました。クラブの多いことを知り、「私たちもやってみよう！」と元気をもらいました。大事にすることは、生協の組合員以外にも参加を呼びかけることを決めて、場所はコープ下鴨の2階集会室を借りることにしました。



< 絵手紙を描こう >

10月29日(土)第1回「下鴨いきいきクラブ」スタートしました。経験のある塩見さんを講師に「絵手紙を描こう」と、お誘いのチラシを作って参加を呼びかけました。9人が集まって、「どうやって描くの?」「どう塗ったらいいの?」と、初めこそ賑やかでしたが、やがて集中して一時間。秋を題材にひとり2、3点の作品が完成しました。完成した絵手紙をボードに貼って、作品展を開催。「秋が満載ね」「これからも四季折々に描きたい」という要望も挙がりました。クラブのメンバーも2人増えました。



秋の画材探しに、
クラブのメンバーも
それぞれが京北や福知山の
野山にススキや紅葉、柿
の実や赤く色づいた烏瓜
を探しに行ったり、好き
な果物を持ち寄ったりし
た熱意も伝わったのか
もしれません。



< 人形劇が来るよ >

11月28日(土)第2回目は、くらしの助け合いの会・左京サロンとの共催で「人形劇サークルあいあい」の人形劇を観ることにしました。サークルに所属している橋本さんの提案です。若い世代の方々にくらしの助け合いの活動に関心を持っていただきたいという目的もあり、会員募集のお知らせをしました。お母さん方と一緒に来てくれた子供たちは9人、大人は13人の参加でした。江戸時代の「判事絵」のクイズをすると小学生の子ども達も真剣に考えて手を挙げて答えていました。人形劇は「へっこき嫁さ」という笑いたっぷりの人形劇でした。終了後は、人形を触らせてもらったり、みんなで歌を歌って、アットホームな雰囲気ですごしました。



赤ちゃんをおんぶしたり、抱っこしたお母さん達の参加は嬉しいものがありました。宣伝など反省することも多々ありますが、ほちほちやっていきたいと思っています。

次回は、幾つになっても

・1/23(土):女子会

・2/27(土):書道です。

どうぞご参加を!